

子どもや子育て家庭を取り巻く状況  
(平成29年6月更新)

# 目次

## I 少子化の動向

### 1. 人口の推移

■人口及び年齢3区分人口の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

### 2. 出生数等の推移

■出生数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

■合計特殊出生率の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

## II 世帯・就労の状況

### 1. 世帯の状況

■一般世帯及び世帯の家族類型別割合の推移・・・・・・・・・・ P 4

■母子・父子世帯数及び母子・父子世帯割合の推移・・・・・・ P 5

### 2. 就労の状況

■女性の年齢別就業率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

## III 子育てを取り巻く状況

### 1. 就学前児童の状況

■就学前児童数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

■年齢別就学前児童数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8

■就学前児童の教育・保育施設の利用状況・・・・・・・・・・ P 9

■保育所の入所児童数・定員数の状況・・・・・・・・・・ P 10

■公私幼稚園の入園児童数・定員数の状況・・・・・・・・・・ P 10

### 2. 小学生の状況

■小学校の児童数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11

### 3. 要保護児童の対応状況

■要保護児童の対応状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11

## I 少子化の動向

### 1. 人口の推移

#### ■人口及び年齢3区分人口の推移

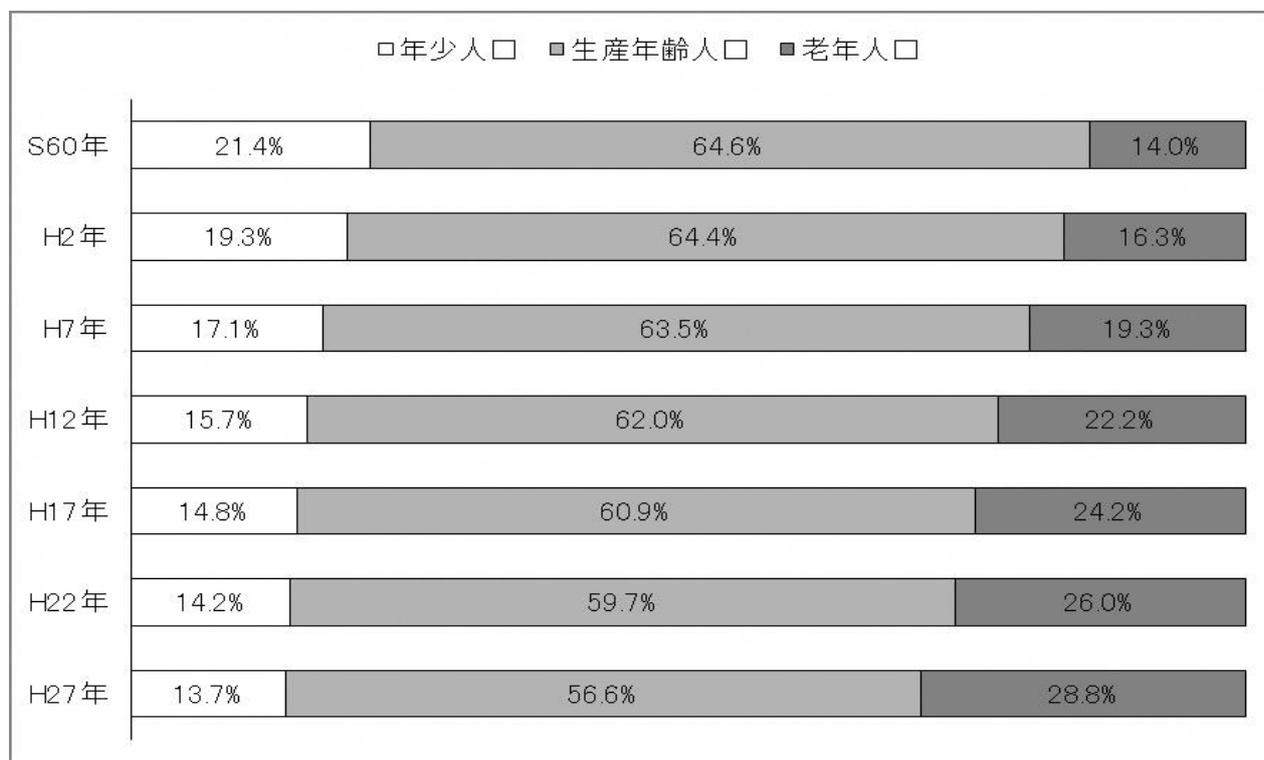
○年齢3区分別人口の推移では、年少人口（0～14歳）の割合が減少し、老年人口（65歳以上）の割合が増加する少子高齢化が進んでいます。

○生産年齢人口（15～64歳）は、平成7年以降減少が続いています。

（単位：人）

区分	S60年 (1985)	H2年 (1990)	H7年 (1995)	H12年 (2000)	H17年 (2005)	H22年 (2010)	H27年 (2015)
総人口	170,529	171,410	172,001	173,776	173,751	171,485	171,938
年少人口 14歳以下	36,424 21.4%	33,001 19.3%	29,488 17.1%	27,334 15.7%	25,633 14.8%	24,402 14.2%	23,617 13.7%
生産年齢人口 15～64歳	110,234 64.6%	110,399 64.4%	109,261 63.5%	107,782 62.0%	105,863 60.9%	102,375 59.7%	97,382 56.6%
老年人口 65歳以上	23,871 14.0%	27,878 16.3%	33,245 19.3%	38,599 22.2%	42,050 24.2%	44,584 26.0%	49,563 28.8%

資料 国勢調査



## 2. 出生数等の推移

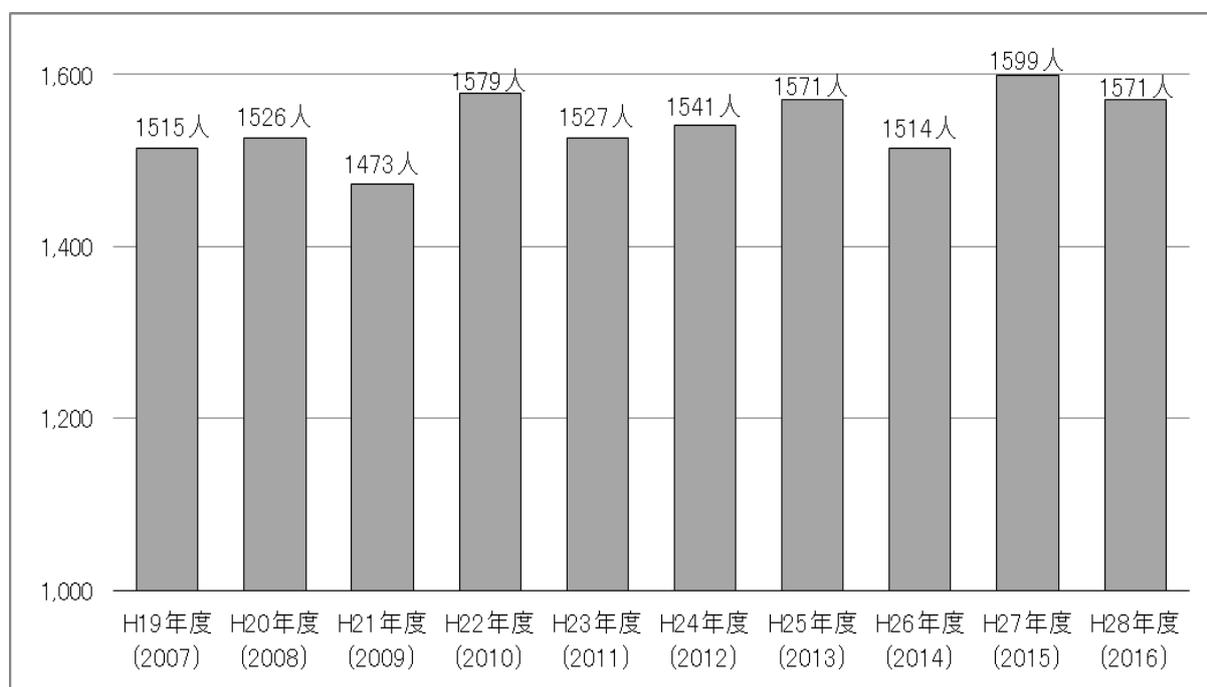
### ■出生数の推移

○出生数は、1,500～1,600人で推移しています。

○住民基本台帳法の改正に伴い、平成24年7月からは外国人住民を含んだ数値を記載しています。

区 分	H19年度 (2007)	H20年度 (2008)	H21年度 (2009)	H22年度 (2010)	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)
出生数(人)	1,515	1,526	1,473	1,579	1,527	1,541	1,571	1,514	1,599	1,571

資料 住民基本台帳

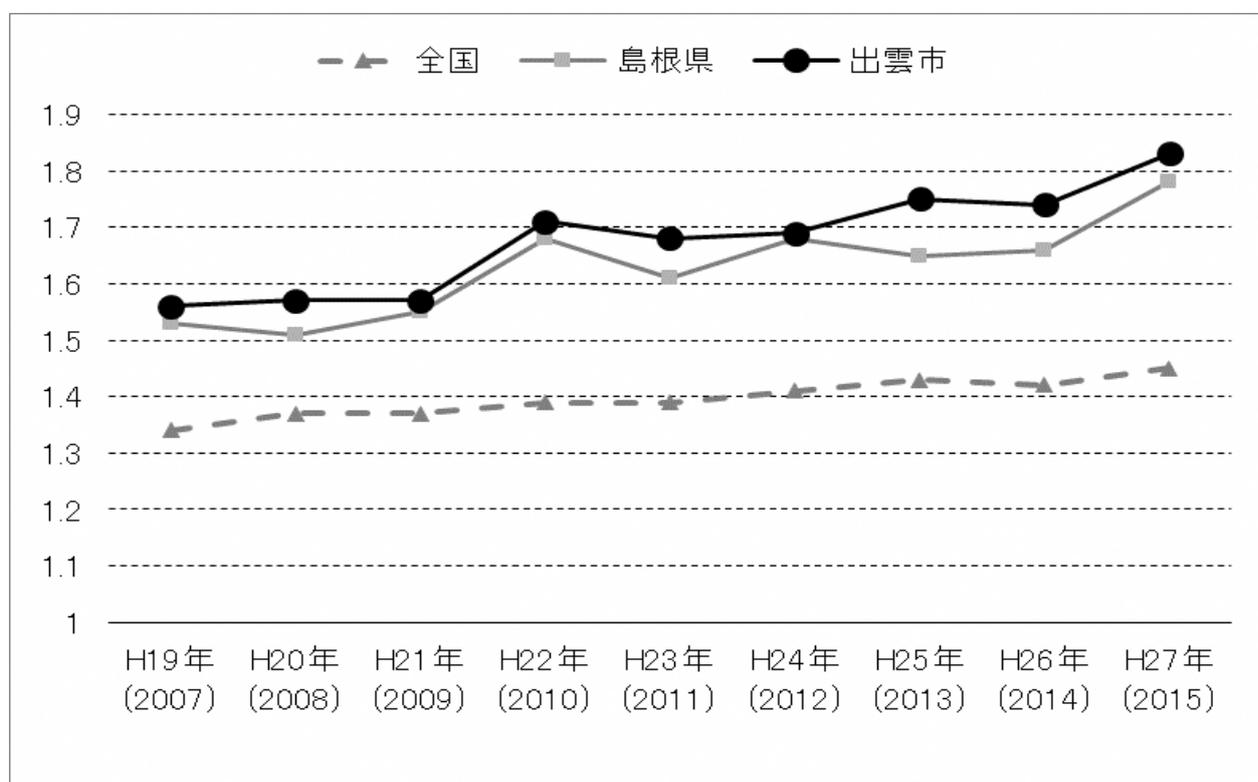


### ■合計特殊出生率の推移

○本市の平成 27 年の合計特殊出生率※1 は 1.83 であり、全国よりも高い値で推移しています。

区 分	H19 年 (2007)	H20 年 (2008)	H21 年 (2009)	H22 年 (2010)	H23 年 (2011)	H24 年 (2012)	H25 年 (2013)	H26 年 (2014)	H27 年 (2015)
出雲市	1.56	1.57	1.57	1.71	1.68	1.69	1.75	1.74	1.83
島根県	1.53	1.51	1.55	1.68	1.61	1.68	1.65	1.66	1.78
全国	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45

資料 人口動態統計



### 用語解説

#### ※1 合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値で、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子ども数に相当する。人口維持に必要な水準は、2.08前後とされる。

## Ⅱ 世帯・就労の状況

### 1. 世帯の状況

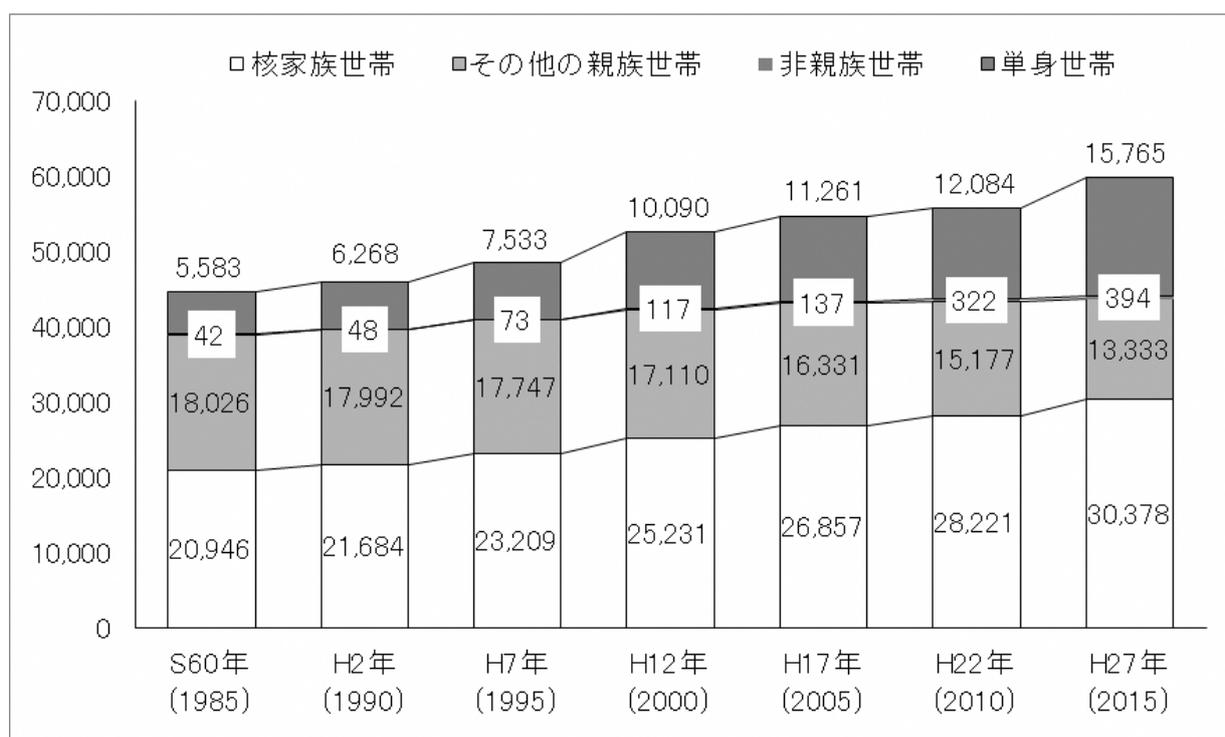
#### ■一般世帯及び世帯の家族類型別割合の推移

○一般世帯数は、増加傾向にあり、家族類型別にみると、核家族世帯、単独世帯が大きく増加し、その他の親族世帯は急速に減少しています。

(単位：世帯)

区 分	S60年 (1985)	H2年 (1990)	H7年 (1995)	H12年 (2000)	H17年 (2005)	H22年 (2010)	H27年 (2015)
一般世帯数 ※2	44,615	45,992	48,562	52,548	54,586	55,805	59,945
核家族世帯数	20,946	21,684	23,209	25,231	26,857	28,221	30,378
	46.9%	47.1%	47.8%	48.0%	49.2%	50.6%	50.7%
その他の親族世帯数 ※3	18,026	17,992	17,747	17,110	16,331	15,177	13,333
	40.4%	39.1%	36.5%	32.6%	29.9%	27.2%	22.2%
非親族世帯数 ※4	42	48	73	117	137	322	394
	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.6%	0.7%
単独世帯数	5,583	6,268	7,533	10,090	11,261	12,084	15,765
	12.5%	13.6%	15.5%	19.2%	20.6%	21.7%	26.3%

資料 国勢調査



■母子・父子世帯数及び母子・父子世帯割合の推移

○平成27年と平成7年を比較すると母子世帯数が約1.7倍と大きく増加しています。

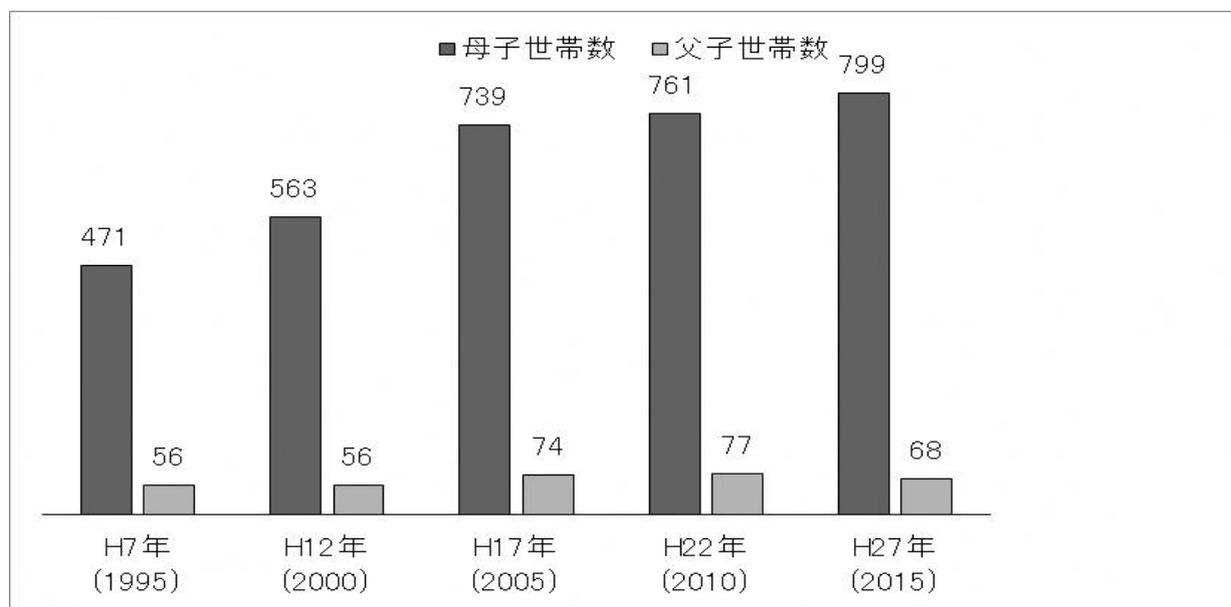
(単位：世帯)

区分	H7年 (1995)	H12年 (2000)	H17年 (2005)	H22年 (2010)	H27年 (2015)
母子世帯数	471	563	739	761	799
	0.97%	1.07%	1.35%	1.36%	1.33%
父子世帯数	56	56	74	77	68
	0.12%	0.11%	0.14%	0.14%	0.11%

資料 国勢調査

\* 18歳未満世帯員のいる世帯を計上

\* 割合は一般世帯に対する割合



用語解説

※2 一般世帯

- ①住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。
- ②上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者。
- ③会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者

※3 その他の親族世帯

二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にあるものがある世帯で核家族でない世帯。

※4 非親族世帯

二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にあるものがない世帯。

## 2. 就労の状況

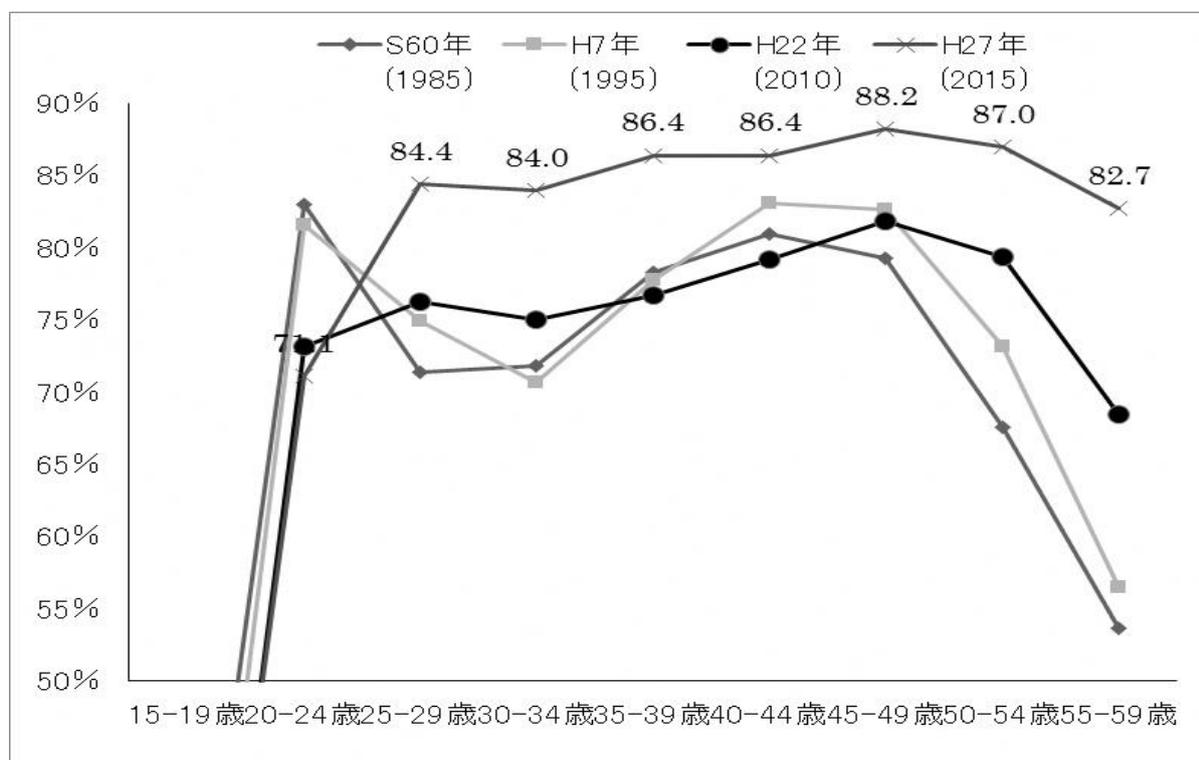
### ■女性の年齢別就業率

- 平成12年以前の女性の年齢別就業率をみると、25歳～34歳にかけて一度落ち込み、その後再び上昇するといった傾向がうかがえます。これは、結婚や出産を機に退職する女性と、子育てが一段落ついて就労する女性の様子を反映していることが考えられますが、このような落ち込みは、平成17年以降にはみられなくなっています。

(単位：%)

区分	出雲市						島根県	全国
	S60年 (1985)	H7年 (1995)	H12年 (2000)	H17年 (2005)	H22年 (2010)	H27年 (2015)	H27年 (2015)	H27年 (2015)
15～19歳	24.5	16.6	14.2	12.1	10.0	11.5	11.2	12.9
20～24歳	83.0	81.6	77.3	71.9	73.2	71.1	70.9	58.6
25～29歳	71.4	74.9	74.8	76.2	76.3	84.4	83.8	68.2
30～34歳	71.8	70.7	69.5	71.1	75.0	84.0	84.4	63.3
35～39歳	78.3	77.8	75.1	73.4	76.7	86.4	86.2	64.1
40～44歳	81.0	83.1	82.5	79.8	79.2	87.7	87.5	67.9
45～49歳	79.3	82.6	81.5	81.6	81.8	88.2	87.1	70.3
50～54歳	67.6	73.2	74.6	74.9	79.4	87.0	86.4	70.3
55～59歳	53.7	56.5	59.9	64.4	68.5	82.7	82.6	65.0

資料 国勢調査



### Ⅲ 子育てを取り巻く状況

#### 1. 就学前児童の状況

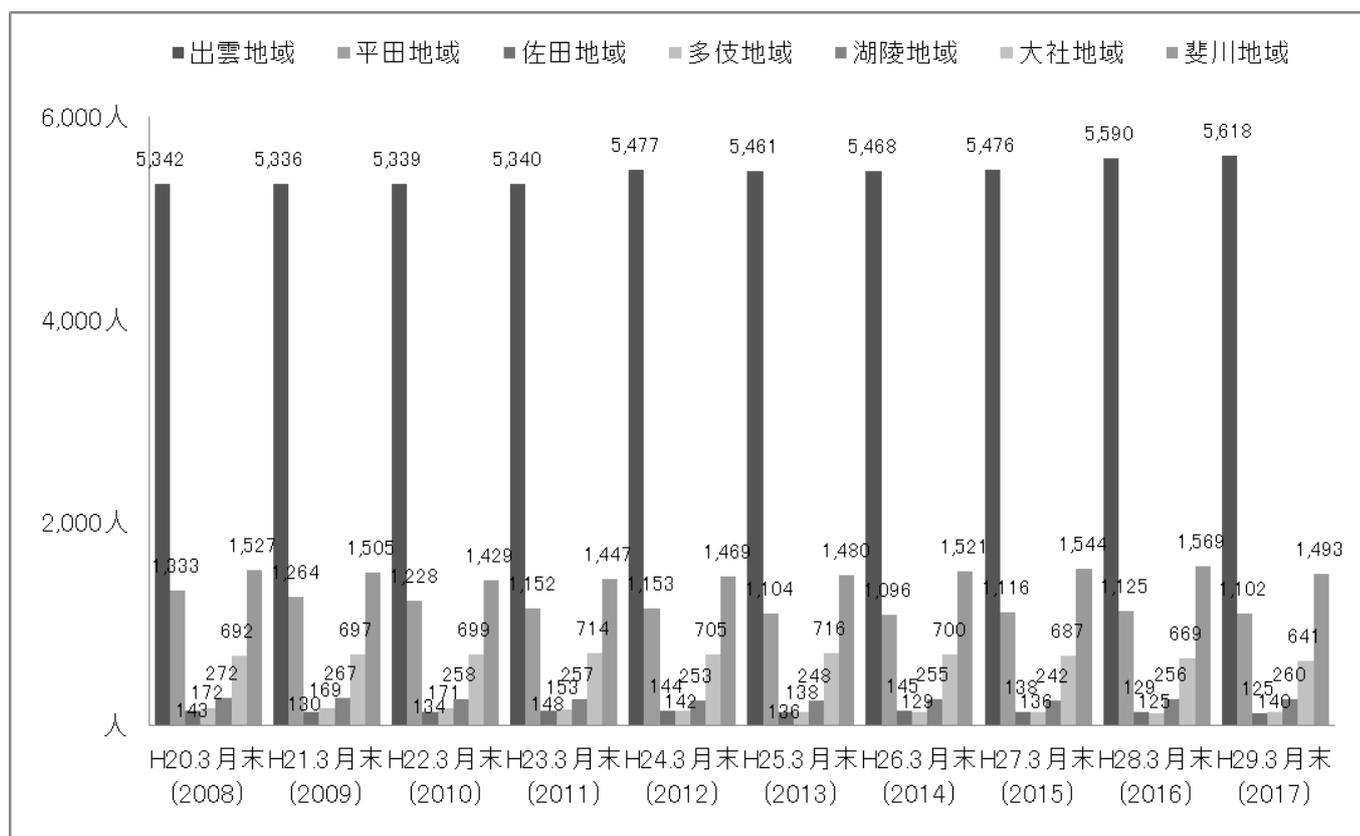
##### ■就学前児童数の推移

○ 9,200人～9,500人で推移しています。

(単位：人)

区分	H20.3月末 (2008)	H21.3月末 (2009)	H22.3月末 (2010)	H23.3月末 (2011)	H24.3月末 (2012)	H25.3月末 (2013)	H26.3月末 (2014)	H27.3月末 (2015)	H28.3月末 (2016)	H29.3月末 (2017)
出雲地域	5,342	5,336	5,339	5,340	5,477	5,461	5,468	5,476	5,590	5,618
平田地域	1,333	1,264	1,228	1,152	1,153	1,104	1,096	1,116	1,125	1,102
佐田地域	143	130	134	148	144	136	145	138	129	125
多伎地域	172	169	171	153	142	138	129	136	125	140
湖陵地域	272	267	258	257	253	248	255	242	256	260
大社地域	692	697	699	714	705	716	700	687	669	641
斐川地域	1,527	1,505	1,429	1,447	1,469	1,480	1,521	1,544	1,569	1,493
合計	9,481	9,368	9,258	9,211	9,343	9,283	9,314	9,339	9,463	9,379

資料 住民基本台帳 \*平成24年7月からは外国人住民を含む



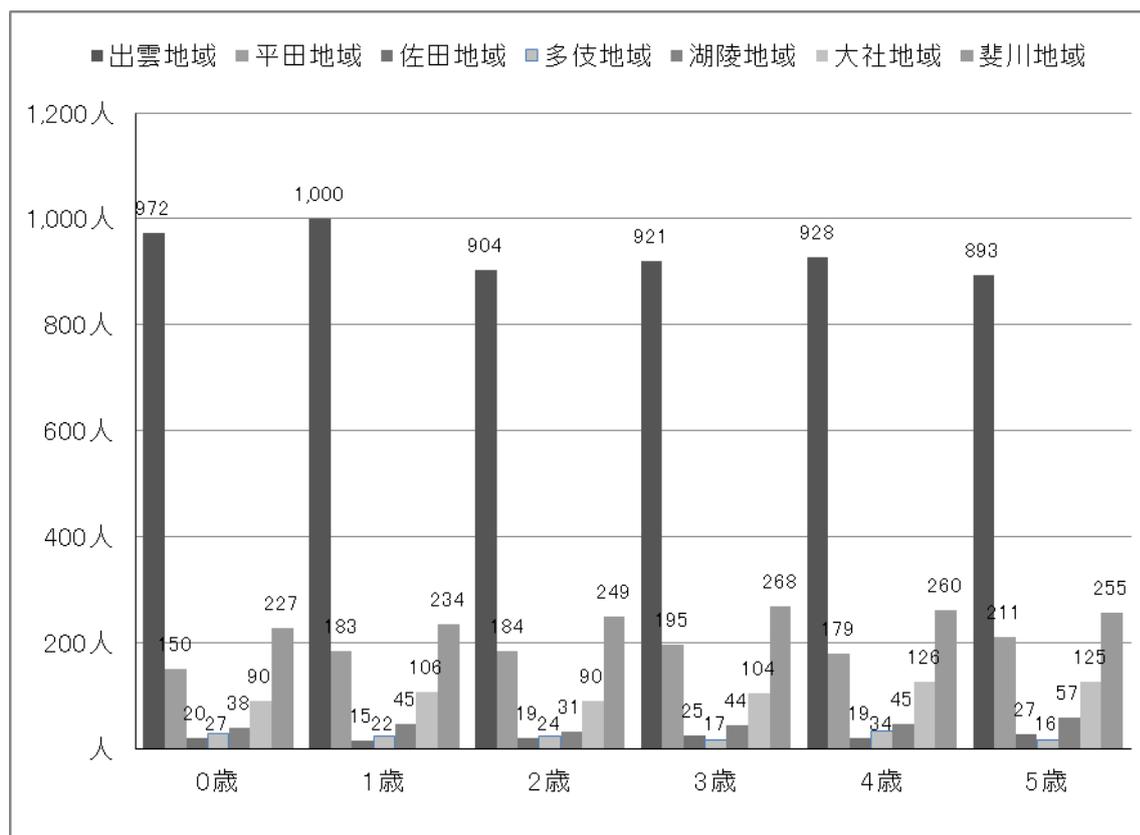
### ■年齢別就学前児童数

○ 平成29年3月末時点の就学前児童(9,379人)の年齢別内訳は以下のとおりです。

(単位：人)

区 分	年 齢						合 計
	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
出雲地域	972	1,000	904	921	928	893	5,618
平田地域	150	183	184	195	179	211	1,102
佐田地域	20	15	19	25	19	27	125
多伎地域	27	22	24	17	34	16	140
湖陵地域	38	45	31	44	45	57	260
大社地域	90	106	90	104	126	125	641
斐川地域	227	234	249	268	260	255	1,493
合計	1,524	1,605	1,501	1,574	1,591	1,584	9,379

資料 住民基本台帳（平成29年3月末） \*外国人住民を含む



■就学前児童の教育・保育施設の利用状況

○ 本市における就学前児童の状況を把握するため、基礎となる資料を基にその概要を表したものです。(各資料の時点が異なるため、正確な数値ではありません。)

(単位：人)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可保育所	411	1,071	1,095	1,078	1,039	1,024	5,718
幼稚園	0	0	0	405	476	507	1,388
在宅等	1,113	534	406	91	76	53	2,273
合計	1,524	1,605	1,501	1,574	1,591	1,584	9,379

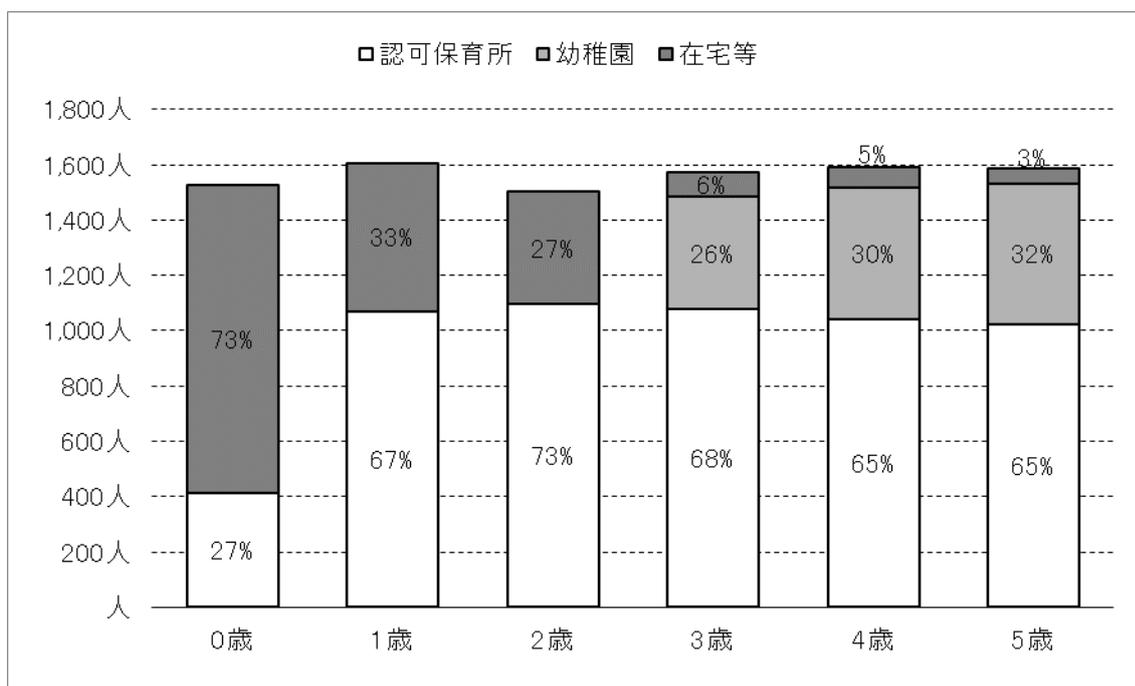
※就学前児童数は、平成29年3月末日の住民基本台帳に基づく人口（外国人住民を含む）

※認可保育所の入所児童数は、平成29年5月1日現在の数値（市外からの入所を除く）。

認定こども園の保育所部分の入所児童数を含む。

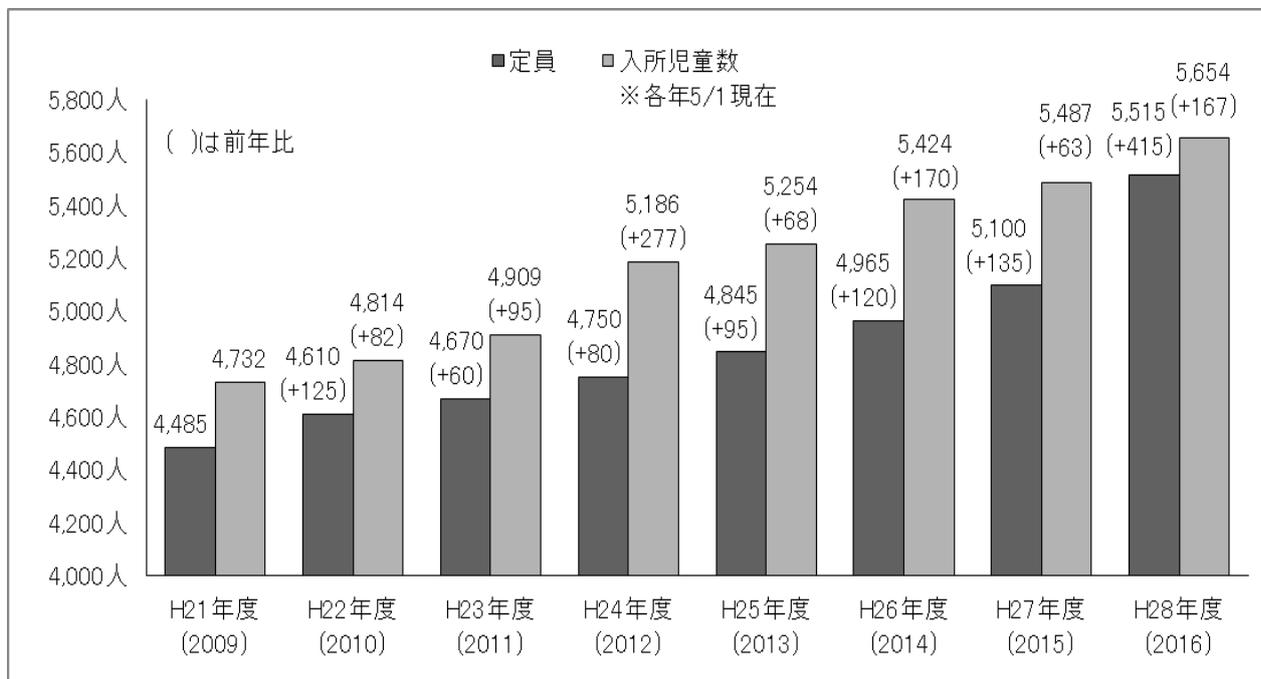
※幼稚園の入所児童数は、平成29年5月1日現在の数値。認定こども園の幼稚園部分の入所児童数を含む。

※在宅等には、事業所内保育所、認可外保育施設に入所する児童数を含む。



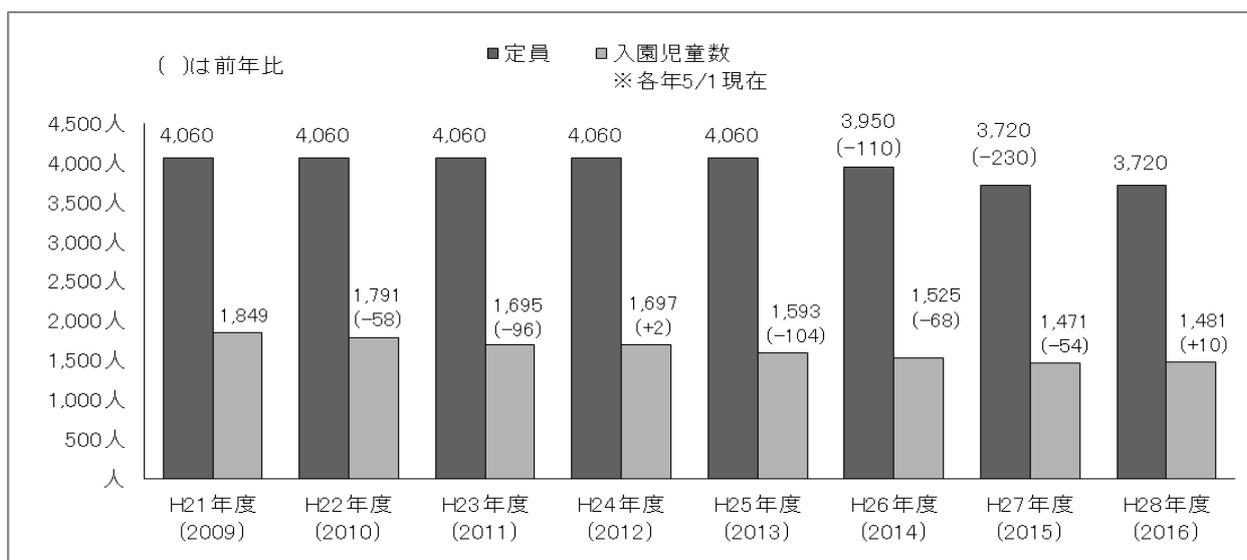
### ■保育所の入所児童数・定員数の状況

- 近年は、毎年定員改定（増員）を実施しています。
- 入所児童が増加傾向であり、近年は、毎年定員超過の状況にあります。



### ■公私幼稚園の入園児童数・認可定員数の状況

- 平成26年度は、私立光幼稚園が認定こども園へ移行したことに伴い、定員減となっています。
- 平成27年度は、私立北陵幼稚園及び市立多伎幼稚園が認定こども園へ移行し、市立日御碕幼稚園及び鶴鷺幼稚園が廃園したことに伴い、定員減となっています。
- 入園児童が減少傾向であり、定員割れの状況にあります。



## 2. 小学生の状況

### ■小学校の児童数

○児童数は、減少傾向にあります。

区 分	H20年 (2008)	H21年 (2009)	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)
小学校数(校)	42	42	42	42	42	41	41	39	38	37
児童数(人)	10,217	10,206	10,152	10,145	9,882	9,822	9,668	9,564	9,537	9,528

資料 学校基本調査（毎年度5月1日現在）

## 3. 要保護児童の対応状況

### ■要保護児童の対応状況

○児童相談件数は、増加傾向にあります。

(単位：件)

	児童相談 (実件数)	(内訳)					
		養育力 不足	児童虐待				
			計	身体的	性的	心理的	ネグレクト
H17年度 (2005)	40	17	23	3	0	4	16
H18年度 (2006)	65	23	42	15	1	11	15
H19年度 (2007)	110	25	85	26	2	20	37
H20年度 (2008)	108	59	49	12	0	15	22
H21年度 (2009)	106	67	39	16	1	13	9
H22年度 (2010)	69	55	14	8	0	5	1
H23年度 (2011)	74	33	41	19	0	5	17
H24年度 (2012)	72	20	52	13	1	19	19
H25年度 (2013)	100	90	10	1	0	3	6
H26年度 (2014)	126	119	7	3	0	0	4
H27年度 (2015)	111	105	6	2	0	2	2
H28年度 (2016)	185	166	19	1	0	5	13